

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	3RF-2203
研究課題名	炭素資源循環を可能にする精密分子変換のための革新的分子触媒技術
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	東京都立大学
研究代表者名	楠本周平

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

リグニン分解から炭化水素の脱水素反応、CO₂固定化までを対象とした極めて幅広い学術的研究であり、リグニンからの高収率での芳香族化合物の製造などは優れた成果である。また、炭素資源循環に向けて基礎的な触媒を利用した素反応開発が行われていることは高く評価できる。系統的な論理に基づいた研究が進められており、学術的な意義に加えて資源化学変換の基盤として重要な成果であると考えられる。実用段階への課題も明確に示されていること、海外との連携研究を通じて成果を生み出していることから、当初目標を超えた成果を得たものと判断する。環境政策への貢献の視点も重要であることから、今後は触媒の高活性化や長寿命化など、システム設計などの実用化に必要な検討が期待される。また、学術的な成果は論文などでの公表を進めていただきたい。